

# 2007年3月期第3四半期（4-12月累計）連結決算の進捗状況

2007年2月7日  
アルプス電気株式会社

<連結>				(単位：億円) 億円未満は切り捨て表示		
(第3四半期：公表値進捗)				(前年同期比)		
	2006/4-12月 実績	2007/3期 (11/8)予想	進捗 率	2005/4-12月 実績	前年同期 差異	増減 率
売上高	5,239	6,950	75%	5,324	85	2%
営業利益	209	215	97%	363	153	42%
経常利益	232	215	108%	370	137	37%
四半期純利益	63	70	90%	153	89	58%
為替レート(USD)	116.19円	115.00円	1.19円	112.11円	4.08円	円安
" (EUR)	147.96円	145.00円	2.96円	136.91円	11.05円	円安
(セグメント別売上高：公表値進捗)				(前年同期比)		
	2006/4-12月 実績	2007/3期 (11/8)予想	進捗 率	2005/4-12月 実績	前年同期 差異	増減 率
コンポーネント	690	961	72%	621	69	11%
磁気デバイス	445	513	87%	579	134	23%
情報通信	415	597	70%	447	32	7%
ペリフェラル	702	930	75%	896	194	22%
車載電装	691	928	74%	586	105	18%
【電子部品 計】	2,945	3,930	75%	3,132	187	6%
音響製品	1,917	2,600	74%	1,852	65	4%
物流・その他	376	420	90%	339	37	11%
【合計】	5,239	6,950	75%	5,324	85	2%

注) 通期予想における各売上高につきましては、セグメント間売上高を含んだ値、実績における各売上高につきましては、セグメント間売上高消去後の外部売上高となっております。

## 【コメント】

### 第3四半期売上高(4-12月) <対通期予想の進捗率>

- ・ 連結売上高 5,239億円(対通期予想の進捗率 75%)

為替影響：通期予想に対して円安で推移したことから、当第3四半期累計で概算40億円の増収要因  
(参考：為替1円に対する売上高への概算影響額 USD 2.2億円/月、EUR 0.6億円/月)

### 電子部品事業における進捗率は75%

携帯電話やデジタルカメラ、携帯音楽プレーヤーなどに代表されるデジタル機器の普及や自動車の電装化などを背景に、コンポーネント・車載電装事業は増収(前年同期比)となりましたが、他3事業は、顧客動向(合併による減、セット販売台数の増減など)による影響に加え、新製品・既存品の拡販が計画通りに進まず、減収(前年同期比)となりました。

### 音響製品事業における進捗率は74%

市販市場向けには、iPod®ダイレクトリンクなど高付加価値製品が好調、且つカーナビゲーション新製品の投入などがありました。また、自動車メーカー向けには、カーナビの純正装着率の増加、搭載モデルの販売好調などにより、増収(前年同期比)となりました。全体としては、増収(前年同期比)となりました。

### 物流・その他事業における進捗率は90%

物流事業において、主要顧客である電子部品メーカーのニーズを捉えた拡販活動や物流提案を積極的に進めたことなどにより、増収(前年同期比)となりました。

### 第3四半期利益(4-12月) <対通期予想の進捗率>

- ・ 営業利益 209億円(対通期予想の進捗率 97%)

為替影響：通期予想に対して円安で推移したことから、当第3四半期累計で概算9億円の増収要因  
(参考：為替1円に対する営業利益への概算影響額 USD 0.6億円/月、EUR 0.1億円/月)

### 電子部品事業における進捗率は130% (65億円/通期予 50億円、為替影響を含む)

通期予想を超える実績となりましたが、第4四半期にかけて見込まれる変動要因(季節性など)もあり、通期予想は変更いたしません。

**音響製品事業における進捗率は97% (92億円/通期予 95億円, 為替影響を含む)**

売上が堅調であることに加え、年末に投入した新製品の拡販や、海外での新製品投入などにより、第4四半期も堅調に推移することが予想されます。

**物流・その他事業における進捗率は73% (48億円/通期予 66億円, 為替影響を含む)**

物流事業において、堅調に推移しており、通期予想は達成出来る見通しです。

### 電子部品事業の部門別状況

#### (コンポーネント)

第3四半期売上高は 690億円(対通期予想の進捗率 72%)となりました。

携帯電話用のコンタクトシート™やメモリーカード用コネクタ、小形デジタル機器用のスイッチなどが堅調に推移していますが、第2四半期と比較して少々レベルダウンしました。第4四半期も同程度の推移になると予想しております。

#### (磁気デバイス)

第3四半期売上高は 445億円(同 87%)となりました。

今第3四半期は、旧来品(GMR/長手)が予想よりも増えたことがプラスに寄与しました。新製品は漸く出荷が開始され、本格的な量産は第4四半期以降になりますが、旧来品の価格下落などの要因もあり、通期の見通しにつきましては、慎重に見ております。

#### (情報通信)

第3四半期売上高は 415億円(同 70%)となりました。

車載用無線モジュール製品は、高シェアを持続しており、無線モジュール製品は、今後も用途を広げ更に数量を高められると見ておりますが、薄型テレビ用デジタルチューナのシェアアップ、カメラモジュールなど携帯向けモジュール製品の拡販などの状況が芳しくなく、今後に向けた取組みを強化しています。

#### (ペリフェラル)

第3四半期売上高は 702億円(同 75%)となりました。

ゲーム用モジュール製品の生産は計画通りに推移しており、ノートPC用キーボードなども順調な進捗となっておりますが、小形フォトプリンタは、主要顧客の在庫調整などの影響もあり、前年を大きく下回る状況が続いています。

#### (車載電装)

第3四半期売上高は 691億円(同 74%)となりました。

搭載モデルの販売数量の増加を背景に、新製品の拡販活動が結実し、着実に売上高を伸長させており、円安による増収効果も寄与して、第4四半期も引き続き好調を推移できる見通しです。

### たな卸資産在庫

連結ベースで2006年12月末は、9月末と比べて21億円の増加(9月末 867億円 12月末 888億円)。

- ・ 電子部品事業：(同 534億円 515億円(19億円減))  
生産調整解消による製品・仕掛品在庫などの減。
- ・ 音響製品事業：(同 325億円 363億円(38億円増))  
主に運送方法の見直しに伴う在庫増(一過性の要因)など。

### 2007年3月期(通期)の連結業績予想について

昨年11月8日に開示した業績予想は、概ね予想通りの進捗状況ではありますが、第4四半期における変動要因なども考慮の上、現時点において変更は行いません。

#### (業績予想の利用に関する注意事項)

上記に記載した将来に関する予想数値およびコメントは、本資料の開示日現在において入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の業績等は今後、様々な要因によって予想数値およびコメントと異なる結果となる可能性があります。なお、当文中に記載の商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

以上

# 2007年3月期 第3四半期 決算参考資料

(注意事項)

当資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおり、実際の今後の業績の今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となることをご承知おきください。また当資料については会計士監査対象外となっています。

2007年2月7日

アルプス電気株式会社

1. 経営成績 (単位：億円)

	2005年度					2006年度				
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	3 Q	1-3 Q計	4 Q
売上高	1,682	1,796	1,845	1,771	7,096	1,703	1,733	1,802	5,239	-
国内	412	411	441	388	1,655	408	423	486	1,318	-
海外	1,269	1,384	1,403	1,382	5,440	1,294	1,310	1,316	3,921	-
営業利益	107	109	146	90	454	73	49	86	209	-
経常利益	110	109	150	93	464	76	60	95	232	-
当期純利益	45	31	76	35	188	28	25	9	63	-

2. 製品部門別売上高 (単位：億円)

	2005年度					2006年度				
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	3 Q	1-3 Q計	4 Q
電子部品事業	957	1,084	1,091	992	4,125	935	1,007	1,002	2,945	-
IC・IC-IC	186	212	223	214	836	223	241	225	690	-
磁気デバイス	172	217	190	206	786	169	161	114	445	-
情報通信	133	152	161	139	587	141	150	123	415	-
パワエレクト	269	311	315	204	1,100	173	237	292	702	-
車載電装	195	191	200	227	814	227	216	247	691	-
音響製品事業	618	597	636	658	2,511	647	597	672	1,917	-
物流・その他	106	115	117	119	459	121	128	126	376	-
合計	1,682	1,796	1,845	1,771	7,096	1,703	1,733	1,802	5,239	-

3. 部門別営業利益 (単位：億円)

	2005年度					2006年度				
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	3 Q	1-3 Q計	4 Q
電子部品事業	57	67	105	53	284	26	15	23	65	-
音響製品事業	33	23	23	16	96	27	17	47	92	-
物流・その他	15	16	16	19	68	17	16	15	48	-
消去	1	1	1	1	5	1	0	1	2	-
合計	107	109	146	90	454	73	49	86	209	-

4. 部門別設備投資・減価償却実施額 (単位：億円)

	2005年度					2006年度				
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	3 Q	1-3 Q計	4 Q
電子部品事業	104	96	77	93	371	84	72	55	212	-
音響製品事業	27	30	25	23	107	23	38	44	105	-
物流・その他	6	4	4	7	23	7	6	62	75	-
消去	0	2	0	0	2	0	2	49	51	-
合計	138	129	108	124	500	114	115	113	342	-
減価償却実施額	91	96	89	91	369	95	96	98	290	-

(注)4-12月期では減価償却費を通期見込み額の3/4で計算しております。

5. 部門別研究開発費 (単位：億円)

	2005年度					2006年度				
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	3 Q	1-3 Q計	4 Q
電子部品事業	40	41	43	40	166	44	45	45	135	-
音響製品事業	67	67	80	72	286	79	79	75	234	-
物流・その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	-
合計	108	109	124	112	454	124	125	120	370	-

6. 部門別棚卸資産 (製品、仕掛品、材料・貯蔵品) (単位：億円)

	2005/6	2005/9	2005/12	2006/3		2006/6	2006/9	2006/12
	電子部品事業	532	553	560		543		573
音響製品事業	345	343	364	285		330	325	363
物流・その他	8	7	8	8		6	7	8
消去	-	-	-	-		-	-	-
合計	887	905	933	837		910	867	888

7. 従業員数 (単位：人)

	2005/6	2005/9	2005/12	2006/3		2006/6	2006/9	2006/12
	期末従業員数	33,704	34,934	35,067		34,655		35,346
(参考)単独従業員数	5,873	5,813	5,802	5,754		5,908	5,908	5,844

億円未満は切り捨て表示。